

令和元年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

第4章 第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

事業番号	事業名	総合評価
1	利用者支援事業	A
2	地域子育て支援拠点事業	A
3	妊婦健康診査	B
4	乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん訪問事業）	A
5	養育支援訪問事業	A
6	子育て短期支援事業	C
7	ファミリー・サポート・センター事業	B
8	一時預かり事業	A
9	延長保育事業	A
10	病児・病後児保育事業	B
11	放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	B
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業	B
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	C

【総合評価割合】

A：6事業（46%）

B：5事業（39%）

C：2事業（15%）

【総合評価基準】

A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）

B：ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）

C：事業の見直しが必要（達成度3割以下）

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号1】

事業名	利用者支援事業	担当課	子育て支援課、保健センター
事業内容	<p>子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。</p> <p>現在、子育て支援サービスの利用についての相談は、子育て支援課や保健センター窓口で受けています。</p>		

令和元年度の取り組み内容

令和元年度より、母子保健型として専任助産師を1名配置しました。それにより妊娠届出時の面接で、よりきめ細やかに妊娠中の保健指導を行いながらケアプランの作成ができるようになりました。また、妊娠後期に電話かけを行い、妊娠届出時に行ったアセスメントの再評価をし、必要な支援を行いました。

「産前産後サポートセンター」では、子育て世代の孤立防止のために母親同士の交流や育児に関する相談、乳幼児の計測をしながら気軽に相談できる場として活用されています。

- ・事業費：5,069千円
- ・ままのわ（ミニセミナー含む）：延300人
- ・助産師相談：延103人
- ・妊婦相談：実446人
- ・育児相談（計測含む）：延1,189人
- ・妊娠後期電話かけ：実23人

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	専任助産師を配置したことで、妊娠届出時の面接で丁寧に聞き取りをしながら不安に寄り添うことで、産後も不安を感じたときに安心して相談ができる体制を整えることができました。
A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）	

令和2年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(か所)	1	1	1	2	2
確保策(か所)	1	1	1	2	2

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号2】

事業名	地域子育て支援拠点事業	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なう事業です。		

令和元年度の取り組み内容

私立の保育施設等で実施し、市はその経費を補助しました。

- ・実施施設：私立保育園1園（東茂原保育園）
私立認定こども園2園（高師保育園、アップル幼稚園）
- ・補助額：18,348千円

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	育児相談や教室等を実施し、保護者への情報提供や子育てに対する不安の解消につながりました。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和2年度以降の取り組みについて

ほのおかこども園（令和3年4月開園）と（仮称）南部認定こども園（令和4年4月開園）の開園にあわせて実施か所数の増加を見込んでいます。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	4,904	4,318	5,819	5,153	5,593
確保策(か所)	2	2	2	3	3

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号3】

事業名	妊婦健康診査	担当課	保健センター
事業内容	<p>妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。</p> <p>妊婦が安心して安全な出産を迎えることができるよう、関係機関（産婦人科医院等）との連携を図りながら、継続して実施していきます。</p>		

令和元年度の取り組み内容

妊婦一人につき、妊婦健康診査14回分の費用を受診票により一部助成し、県外等の委託契約をしていない医療機関での妊婦健康診査については、償還払いにより対応しました。

また、平成30年度より医療機関委託妊婦健康診査受診票を用いても生じた自己負担金の助成（上乗せ助成）を開始し、令和元年度も継続して妊婦の経済的負担の軽減を図りました。

- ・事業費：54,209千円（令和元年度決算）
- ・延べ受診者数：5,504人（医療機関委託妊婦健康診査受診票利用者）
- ・上乗せ助成：実425件
- ・医療機関委託妊婦健康診査助成金額：101,000円（14回分）
- ・受診率：86.8%（母子手帳発行数からの試算）
- ・上乗せ助成：自己負担を受診券使用1回につき2,000円を上限に助成

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	産科医療機関と連携し、定期的な妊婦健康診査が滞っている場合には訪問等にて受診勧奨を行い、安心して安全な出産ができるように支援しました。
B：ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割）	

令和2年度以降の取り組みについて

妊婦健康診査受診の必要性については、引き続き母子健康手帳交付時、ママ・パパ教室時、及び妊婦訪問時に妊婦や家族に周知を図っていきます。また、産科医療機関と連携し、定期的な妊婦健康診査を受診し、安心して安全な出産ができるように支援していきます。

	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	平成29年度 （実績）	平成30年度 （実績）	令和元年度 （実績）
見込量（人）	6,704	6,385	6,441	5,953	5,504
確保策（人）	6704	6,385	6,441	5,953	5,504

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号4】

事業名	乳児家庭全戸訪問事業 (赤ちゃん訪問事業)	担当課	保健センター
事業内容	家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。保健師・看護師・保育士が訪問しています。		

令和元年度の取り組み内容

生後4か月までの乳児のいる家庭を対象とし、原則として第1子は助産師が生後1か月以内に、第2子以降は生後2か月以降に看護師、保育士が訪問しました。エジンバラ産後うつ質問票(EPDS)を用い、産後うつも含めて母子の状況を把握し、子育ての不安や悩みを傾聴し、必要な子育て情報を提供しています。

- ・対象：454件のうち451件（99.3%）
- ・事業費：2,031千円

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	訪問により、児の成長発達の確認と、母親の不安や悩みに寄り添い、必要な子育てに関する情報提供などを行い、育児不安の解消につながりました。また、EPDSにより産後うつ傾向のある母親を早期に発見し、継続支援ができたことから虐待予防としても効果があったものと考えます。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和2年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	578	550	451	484	452
確保策(人)	578	550	451	484	452

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号5】

事業名	養育支援訪問事業	担当課	子育て支援課
事業内容	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。		

令和元年度の取り組み内容

養育支援が必要な家庭に対して、養育支援訪問員が訪問し、指導・助言を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施に努めました。

- ・実施数：24家庭

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	妊娠届出時等から把握した養育支援が必要な家庭に対して保健センターと連携し、事業目的を達成することができました。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和2年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、充実した体制で事業が行えるよう、引き続き増加傾向にある支援の必要な家庭への対応を図ります。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	10	16	15	18	24
確保策(人)	10	16	15	18	24

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号6】

事業名	子育て短期支援事業	担当課	子育て支援課
事業内容	<p>短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護等（トワイライトステイ）事業があります。ショートステイ事業は、保護者が、疾病・疲労など身体上・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合に、原則として7日以内に児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において養育・保護を行うものです。</p> <p>トワイライトステイ事業は、保護者が、仕事その他の理由により、平日の夜間又は休日に不在となり児童の養育が困難となった等の緊急の場合に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設において児童を預かるものです。</p>		

令和元年度の取り組み内容

実施した事業はありません。

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	市内の児童養護施設または保育所等の状況から現状での実施は困難と考えます。
C：事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	

令和2年度以降の取り組みについて

事業者に対して事業内容の啓発・周知を行い、実施を検討していきます。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	0	0	0	0	0
確保策(か所)	0	0	0	0	0

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号7】

事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員とし、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。		

令和元年度の取り組み内容

- ・事業受託者と委託契約を締結し、市内教育機関、保育施設、小学校、民生委員等への周知・啓発を実施しました。
- ・依頼会員51名、提供会員26名、両方会員3名の80名の会員が登録されており、6名の会員が延157回の利用をしました。

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	子ども・子育て支援事業計画策定時から実施が望まれていた事業でもあり、事業が開始されたことは評価に値しますが、マッチングが成約しなかった理由を検証する必要があります。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和2年度以降の取り組みについて

未だ、地域全体に本事業が浸透しているとは言いがたい面があるため、入所説明会を開催するなどし、周知啓発に努め、会員の確保に努めます。
マッチング件数についても増加を目指しますが、根底にあるのは「提供会員の自発的意思」であるため、通常の保育サービスとは数値目標の認識を改める必要があります。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	0	0	0	0	157
確保策(か所)	0	0	0	1	1

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号8】

事業名	一時預かり事業	担当課	子育て支援課
事業内容	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主に昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行います。		

令和元年度の取り組み内容

一時預かりを保育施設や幼稚園で実施し、私立保育園及び私立認定こども園には、経費の補助を行いました。

- ・実施施設：公立保育所1園、公立幼稚園4園、私立保育園1園、私立認定こども園2園、認可外保育施設2か所
- ・補助額：1,848,800円

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	家庭において一時的に保育ができなくなってしまった保護者のニーズに対応しました。
A：十分な成果を上げた (達成度8割以上)	

令和2年度以降の取り組みについて

一時保育に対する保護者のニーズは高いため、事業の充実に努めます。

【幼稚園在園児以外の一時預かり】

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	244	350	236	289	205
確保策(か所)	4	4	5	5	5

【幼稚園在園児の一時預かり】

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	14,093	20,984	22,509	19,139	18,576
確保策(か所)	5	5	5	5	5

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号9】

事業名	延長保育事業	担当課	子育て支援課
事業内容	保育認定を受けた子どもを、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等で保育を実施する事業です。		

令和元年度の取り組み内容

延長保育を公立及び私立の保育施設で実施し、私立の保育施設には経費の補助を実施しました。

- 補助額：3,310,000円

- 公立保育所8園及び私立認定こども園1園：保育標準時間認定を受けている園児については、18時30分から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時30分から8時まで、又は16時から19時まで延長保育を行いました。

- 公立保育所1園（豊田保育所）：保育標準時間認定を受けている園児については、7時から7時30分まで、又は18時30分から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時から8時まで、又は16時から19時まで延長保育を行いました。

- 私立保育園1園及び認定こども園1園：保育標準時間認定を受けている園児については、18時から19時まで、保育短時間認定を受けている園児については、7時から8時、16時から19時まで延長保育を行いました。

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	全ての公立・私立保育所（園）及び私立認定こども園で実施し、多様な保育ニーズに対応しました。
A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）	

令和2年度以降の取り組みについて

延長保育に対する保護者のニーズは高いため、今後とも充実を図ります。

	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	平成29年度 （実績）	平成30年度 （実績）	令和元年度 （実績）
見込量（人）	2,146	2,146	2,206	1,745	1,591
確保策（か所）	12	13	13	13	13

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号10】

事業名	病児保育事業	担当課	子育て支援課
事業内容	<p>病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。 現在、市内にある内科医院内において1日4人を定員で病時・病後時保育を実施しています。</p>		

令和元年度の取り組み内容

小学校就学前健診や保育所入所案内時等にパンフレットを配布しました。また、広報もばらに掲載するなど病児・病後児保育の周知に努めました。
 また、白子町の酒井医院の利用にあたっては、白子町、一宮町、長生村と協定の締結に向けて協議を行いました。

- ・市内の病児・病後児保育施設の年間利用者数：59人

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	利用実績は59人と減少傾向にありますが、利用対象は「病児・病後児」であり、評価は慎重に行う必要があります。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和2年度以降の取り組みについて

- ・令和元年度末で宮本内科医院での病児・病後児保育が終了したことから、新たに市内での実施に向けて、協議を進めてまいります。
- ・令和2年度から、白子町の酒井医院と業務委託契約を締結しました。広報や市ウェブサイトにて周知に努めます。

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	221	121	141	101	59
確保策(か所)	1	1	1	1	1

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号11】

事業名	放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	担当課	子育て支援課
事業内容	<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に児童センター等を利用して健全な育成を図る事業です。</p> <p>子どもの安全・安心を最優先と考え、施設の老朽化に対応するとともに、教育委員会と連携して、学校の施設を活用した事業展開を行います。</p> <p>今後、見込みが定員を上回る学童クラブが生じることも想定されます。学童クラブごとに状況が異なるため、利用者が均一なサービスが受けられるよう、計画期間内に個別に確保策を検討していきます。また、教育委員会が進める放課後子ども教室推進事業との連携に努めます。</p>		

令和元年度の取り組み内容

- ・公立学童クラブにおける通年及び長期休業中の利用受付と入退所管理を実施しました。
利用者数：605人（公設・民設）
- ・民設学童クラブ及び利用者に対する補助により運営支援を行いました。
クラブに対する補助：5,964千円
利用料補助：1,884千円
- ・東部小学校区学童クラブの施設整備及び運営事業者の選定をしました。なお、施設整備にあたっては工期が延長されたことから、開設は令和2年7月を予定しています。

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<p>保護者の就労環境整備及び児童の保育環境の向上が図られたものの、待機児童の解消（特に長期休業期間中）には至りませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月1日時点待機児童数：27人 ・夏期学童待機児童（1次調整時点）：63人
B：ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）	

令和2年度以降の取り組みについて

- ・東部小学校敷地内に学童クラブを整備します。
- ・夏期学童クラブの受け入れ拡大に向けて協議・検討します。
- ・二宮小学校及び緑ヶ丘小学校の小学校再編とあわせて、学童クラブを整備します。

	平成27年度 （実績）	平成28年度 （実績）	平成29年度 （実績）	平成30年度 （実績）	令和元年度 （実績）
見込量（人）	523	558	556	591	567
確保策（人）	570	600	600	615	630
確保策 （か所）	放課後 児童クラブ	18	19	19	19
参考 （か所）	放課後 子ども教室	4	5	5	6

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号12】

事業名	実費徴収に係る 補足給付を行う事業	担当課	学校教育課
事業内容	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。		

令和元年度の取り組み内容

子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園の利用者を対象に年収360万円未満相当世帯や、園児が小学校3年生以下で数えて第3子以降にあたる場合等に、月額4,500円を上限として副食費の助成を実施しました。

- ・対象者：72人（延べ人数：333人）
- ・助成費：508,867円

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	保護者の世帯所得等を勘案し、食事の提供に要する費用の助成を実施しました。
B：ある程度の成果を上げた (達成度4割～7割)	

令和2年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

【食事の提供に要する費用】

	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
見込量(人)	0	0	0	0	333
確保策(人)	0	0	0	0	333

第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策

【事業番号13】

事業名	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	担当課	子育て支援課
事業内容	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究や、その他の多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置又は運営を促進するための事業です。国や近隣の市町村の動向をみながら、必要に応じて実施の検討をします。		

令和元年度の取り組み内容

実施した事業はありません。

令和元年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	現時点では、該当する事業者はありませんが、必要に応じて事業の実施を検討します。
C：事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	

令和2年度以降の取り組みについて

必要に応じて事業の実施を検討します。